

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

一般社団法人 国際栄養食品協会 末木 一夫

昨年と同様に硬い話題で申し訳ないが、CODEX の複数の部会で、DHA/EPA あるは魚に関する議題が討議されている。今回は、それらの話題につき終了部会、今後開催予定の部会ごとに、時間軸に基づいて紹介する。

1) 34 回魚類・水産油脂部会<CCFFP>(2015 年 10 月 オースレン):下記の課題が討議された。「急速冷凍ホタテの温度管理に関する規定」結論は規定不要。「急速冷凍フィッシュスティックの含量分析に窒素係数の使用」結論は可。「ヒスタミン含量の基準値低減」結論は、現行の 200mg/kg。

2) 48 回食品添加物部会<CCFA>(2016 年 3 月 西安):魚油に酸化防止剤として添加するトコフェロール<ビタミン E>の最大配合量を 300mg/kg から 6,000mg/kg に引き上げることで合意<2015 年開催の CCFO で合意されていた>。また、「魚類及び水産製品に関する規格における食品添加物条項」にソルビン酸ナトリウムにつき、同一性及び純度に関する規格がないために、使用実態が各国に照会されている。実際には、日本でも使用されており通常の添加物への対応が不十分な状況である。

3) 10 回汚染物質部会<CCCF>(2016 年 4 月 ロッテルダム):メチル水銀の最大基準値(ML)を狭めることの討議文書が提出され討議予定。また、基準値を定める魚種の設定<ピンチョウマグロ、キハダマグロは、設定すべき><共同議長国:日本、ニュージーランド>

4) 第 38 回栄養特殊用途食品部会<CCNFSDU>(2016 年 12 月 ドイツ):EPA/DHA の栄養素参照摂取量(NRV)に関して、その必要性、量および標的健康指標が討議予定。冠血管系疾病のリスク低減を目標に 250mg/日が、EU の EFSA から提案されている。なお、2015 年の部会では、日本は、設定に反対の立場であった。

5) CODEX 油脂部会(CCFO)が、来年(2017 年)の 2 月に開催されるが、前回(2015 年)に結論が出なかった国際規格について討議される予定である。

その他には、分析およびサンプリング法(ヒ素、p-アニシジン価およびオリゴマー)、品質パラメーター、ビタミン A および D 量、“Named fish oils”と“fish liver oil”の脂肪酸組成等につき再度討議されると思われる。

《第 19 回通常総会のご案内》

第 19 回通常総会を以下のとおり開催いたします。会員各位へは、近日中にご案内を発送いたします。

日 時: 平成 28 年 5 月 18 日(水)14:00 ~ 19:00

場 所: 弘済会館 〒102-0083 東京都千代田区麴町 5-1 TEL: 03-5276-0333

講演会: 農林水産省 農林水産技術会議事務局と(株)グローバルニュートリショングループ 武田 猛様に機能性表示食品制度に関連したご講演をお願いしております。

《幹事会のうごき》 平成 28 年 3 月 11 日(金)15:00~17:00 に一般財団法人日本水産油脂協会新館において平成 27 年度第 11 回幹事会が開催された。

- ・ 2 月末日までの収支計算書の報告が事務局よりあり、了承された。
- ・ 次年度予算(案)が事務局より提出され、検討された。